

白神プロジェクト

令和8年度 地域を支える人材育成事業「地域連携強化事業」

本校は、秋田県側の学校としては、世界自然遺産「白神山地」に最も近い高校である。特色ある学校づくりを目指して「白神プロジェクト」と、という取り組みをおこなっている。

プロジェクトの目標

世界自然遺産「白神山地」の魅力を広く伝えることができる生徒を育成する。

主な活動内容

- ① **白神招へい講座**・・・大学教員など白神山地に関する専門家、写真家、山岳愛好家等の外部講師による講演。
(5月)
- ② **フィールドワーク**・・・実際に白神山地に入り、体験・見学を行う。今年度は
(6月) 1、3年生は植樹、岳岱自然観察教育林の見学など、2年生はニツ森でのオオバコ除去作業などを予定している。
- ③ **白神フォトコンテスト**・・・生徒たちがフィールドワークで撮影した写真の中から選ば
(10月) れる。ニツ井キャンパス祭とニツ井地区文化祭（於 ニツ井公民館）で公開される。尚、受賞作品は年間を通して渡り廊下に掲示される。
- ④ **白神発表会**・・・フィールドワークなどで学んだ事を、レポートにまとめて
(11月) 生徒がそれぞれ発表する。



白神招へい講座

講演者は 林野庁 東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター 所長 鈴木 直幹さん



白神フィールドワーク① 植樹



白神フィールドワーク② 留山散策



白神フォトコンテスト（ニツ井地区文化祭 於 ニツ井公民館）

このプロジェクトを通して、生徒たちが白神山地に関する知識や愛着を深めることはもちろんのこと、人の話を聴くこと、人に伝えること、読む人にわかりやすく書くことなどの言語活動によって、コミュニケーション能力の向上を図る。そして卒業後、「秋田県で白神山地に一番近い高校で学んだ」ことを誇りに思い、自信をもって故郷や母校を発信できるようになることを期待している。